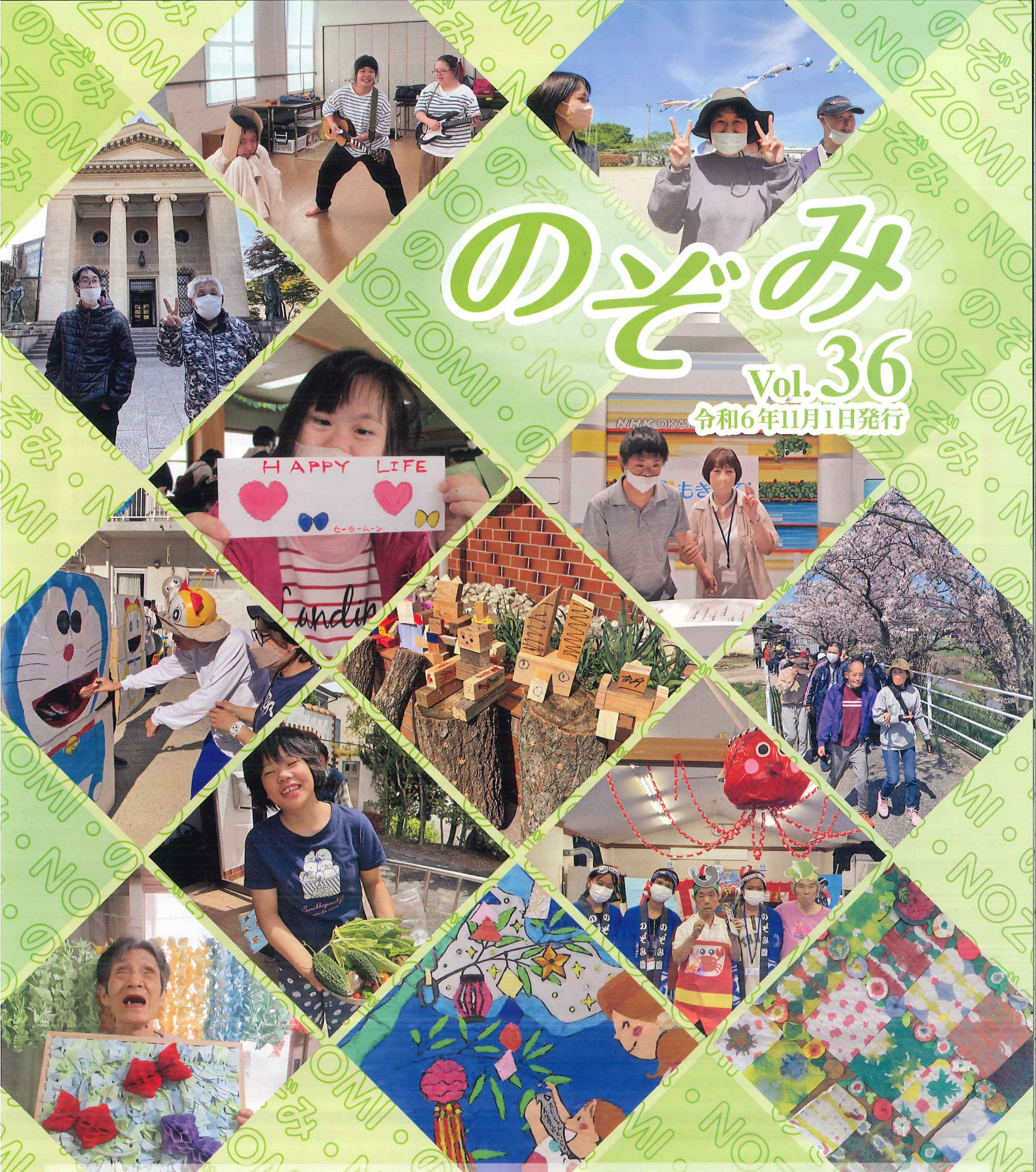


# のぞみ

Vol.36

令和6年11月1日発行



発行  
社会福祉法人 同 仁 会 TEL.(0863)71-0110  
障害者支援施設のぞみ園  
共同生活事業所のぞみホーム TEL.(0863)71-0110  
相談支援事業所のぞみ TEL.(0863)71-0110  
生活介護事業所 グレイス TEL.(0863)71-0188  
地域活動支援センター こだま TEL.(0863)73-5018  
地域密着型特別養護老人ホーム 笑 福 亭 TEL.(086)277-6300  
放課後等デイサービス事業所 こだまクラブ TEL.(0863)33-3717  
就労継続支援B型事業所 フクちゃんのパン屋さん TEL.(0863)23-4780

旧社会福祉法人 自然の森  
就労継続支援B型事業所 エスポアール・セルブ TEL.(086)284-8004  
生活介護事業所 エスポアール・スター TEL.(086)284-8090  
相談支援事業所 相談支援事業所エスポアール TEL.(086)284-9002  
生活介護事業所 エスポアール・クワノ TEL.(086)274-6677  
救 護 施 設 たましま寮 TEL.(086)522-2230

## ごあいさつ



フクちゃんのパン屋さん  
副所長 堀井 元

フクちゃんのパン屋さんは、平成27年6月に開所し、今年10年目を迎える事となりました。これも地域の皆様、行政を始めとする様々な関係機関、日々最前線で利用者支援に邁進される職員のご理解とご協力の賜物だと感じています。ありがとうございます。もちろん、日々通所される利用者の頑張りも忘れてはなりません。法人理念である「隣人愛・共同・自立」の精神の大切さを改めて感じます。そして、その理念を基に、利用者により良いサービスを提供し、ご満足いただけるよう職員一同努めていきたいと思っております。

さて、話は変わりますが、今年1月1日に能登半島において大規模な地震による災害が発生しました。福祉の専門家で構成される岡山DWATは、石川県に災害支援のため派遣され、チーム員である私も法人内外の調整を経て、1月中旬に石川県七尾市に行きました。

七尾市では、行政機関やその他様々な専門チーム、他府県のDWATチーム員と協力しながら、避難所支援、巡回における状況確認、支援が必要な避難所の見極めなどを中心に活動しました。

避難所での生活が2週間を迎えるという時期であったため、避難者のイライラや不安などの心理面、エコノミー症候群・感染症など健康面に配慮しての対応が必要でした。また日々目まぐるしく変わる状況の中、避難所生活を送りやすくなるよう心掛けました。悪路のため、避難所まで時間がかかったり、水が使えない等インフラが不自由な中での活動でしたが、次クルのチーム員にバトンを渡し、活動を終了しました。

今後、我が町でも大災害が起こった場合を想定し、普段から準備しておくことが必要だと感じました。避難訓練等により個々の災害に対する意識を高めたり、情報の収集・協力機関の受入れができるような体制作りなど、「いざ」という時に備えておくことが大事だと思えました。

能登半島地震から9カ月…復興道半ばの被災地で大雨特別警報が発表され、今度は集中豪雨で二重被災に見舞われました。一刻も早く被災された人たちが平穏な日々を送れるよう願いを込め、挨拶に代えさせていただきます。

## 就労継続支援B型事業所 フクちゃんのパン屋さん

フクちゃんのパン屋さんでは、一般雇用が難しい障害のある方に、就労機会を提供し、生活リズムを整え、充実した社会生活を送れるように支援を行っています。

作業内容は、パン・菓子製造、店舗運営、施設外就労先でのお菓子の箱の組立や、珍味の計量・袋詰めほかに、農業関係の作業などにもチャレンジした年でした。

自治会の「コアラ会」では、利用者が定期的に話し合い、主体的に活動しています。個性や能力は人によって違いますが、できる力を出し合って企画・実行できるように職員もサポートしています。

世の中では障害者虐待などのニュースが散見されますが、職員は、利用者との対等な関係性を意識しながら、可能性に目を向け、支援の充実、工賃向上、一般就労へ向けた取り組みを行い、利用者の満足度が向上できるように努めていきます。



## 相談支援事業所 のぞみ

相談支援事業所のぞみは現在、3名の相談支援専門員で活動しております。昨年度に引き続き、指定特定相談を主としながら、障害児相談も行っております。

また、同時に、玉野市障害者総合支援協議会の事務局を今年度も引き続き承り、5月31日に全体会を開催しております。今年度はコロナ禍中には控えていた研修会を再開し、多くの協議会員の方に参加をいただきました。今年度は成年後見制度をテーマとし、パブリック法律事務所入口弁護士にご講演頂き、分かりやすかったとご好評を頂いております。

自立支援協議会の活動の一環として各部会への参加、運営連絡会議、さらには備前圏域や圏事務局連絡会議へ参加し、各市町村の取り組みなどを持ち帰り、我が町玉野でどのように活用できるかをコアメンバーと協議しております。

地域での活動として、手をつなぐ育成会地域相談会への参加、支援学校主催の生活介護事業所説明会や地区懇談会への参加、成年後見地域連携会議へ参加し、地域に暮らす様々な年代の利用者やその家族にとって福祉サービスについて、地域で暮らすことについて意見を貰いながら専門的な助言ができるよう努めております。

現在は地域共生社会にも包括などがトレンドワードとしてよく聞かれるのではないのでしょうか。これから先、障害があってもなくても地域で自分らしく暮らす事を目指す流れがやってきました。私たち相談支援専門員は、これからも地域で暮らしにくい障害者の方々の助けになれるよう頑張りたいと思っております。

# 同仁会 事業所の活動紹介

## 放課後等デイサービス こだまクラブ

こだまクラブは小学生から高校生までの集団で互いに刺激しあいながら活動、個別の課題に合わせた取り組みも行っています。

活動は音楽や太鼓、踊り、昔遊びでにぎやかに過ごす一方、作品作りでは作品展の入選を目指しやりがいにもつながっています。特に園芸活動は1年を通じた米作り、野菜や花を育て食育や伝統行事や文化にふれる機会になり、育てた花は地域に飾ってもらっています。

中でも今年は田んぼの一画を体験ゾーンに確保。通っている子全員が田植えを体験しました。いつもクールな子がはしゃいだり普段見せない身の動きを披露したりして楽しく活動できました。

「収穫しておにぎり食べるのが楽しみ!」「ご近所にもおすそ分けできたらいいな!」これらを通して地域とのつながりを深めたい。これからも子ども達の笑顔と安心信頼を大切にしていきたいと思えます。

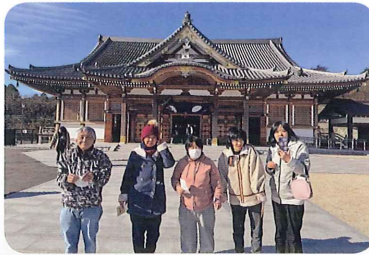


## 共同生活事業所 のぞみホーム

のぞみホームの居住棟は玉野市内に4か所あり、現在18名の利用者が生活支援員や世話人のサポートを受けながら生活を営んでいます。

利用者の方は日中、それぞれの就労先や福祉事業所で仕事、活動がんばっているの、ハウス内ではしっかり休むことができるようゆとりのある時間を組んでいます。自分たちの時間を確保しつつ安心で落ち着いた生活を営みながら共有空間を役割分担で清掃、設備維持できるような役割分担も日課としています。

自分たちのできることを継続し、周りにも共有しつつ自信が実感できるようなサービスを提供できるように、支援内容の向上を目指していきたいと思えます。



## 地域活動支援センター こだま

地域活動センターこだまでは、平日は賑やかに活動しています。月曜から金曜日まではシール貼りや箸入れの作業に取り組むなど、生産活動体験訓練をしています。土、日、祝日は余暇活動として、社会体験や運動・クッキング・製作活動をしています。新型コロナも昨年5月から5類に移行され、以前のように外食にも出かけています。今年もみんなで楽しく活動していきたいと思えます。

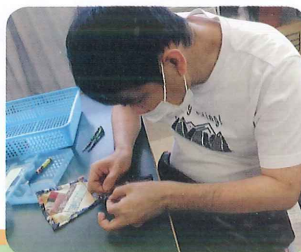


## 生活介護事業所 グレイス

ふたつの室内作業を紹介します。ひとつ目は、「パッチワーク」です。パッチワークでは、刺し子のふきんを作ったり、コースターやバッグなど様々な作品作りをしています。初めは上手に縫えなかった方も、日々の積み重ねで小さな目で上手に縫うことができます。

ふたつ目は、「製作活動」です。製作活動では、紙すきをして手作り和紙を作ったり、この和紙を使用して、コースターや封筒などを作っています。また、ペーパークイリングという方法で細長く切った和紙を巻き、できあがったパーツを用いて立体的な作品も作っています。

皆さん作業中は集中して、日々コツコツと作品作りを行っています。できあがった作品は販売しています。お気軽にお声かけください。



## 就労継続支援B型 エスポアール・セルブ

福谷の事業所では、点字ブロック加工作業に取り組んでいる19名が、北ふれあいセンター内の事業所では、封入や仕切り折りなどの軽作業に取り組んでいる11名が、元気に通所し作業や活動に取り組んでおります。今年も農福連携事業への参加として、桃の産地である一宮地区の桃畑で、桃の袋掛け作業にも取り組みました。チャレンジする心を大切に、個々の強みを活かして生き生きと作業を行えるよう支援しています。



桃の袋掛け



ビンゴ大会♪



ボランティアの先生と  
コロッセを作りました

また、日帰り旅行（蒜山高原センター）、ミニ運動会、クリスマス会、日常生活訓練活動など、作業だけでなく行事や活動にも積極的に取り組んでいます。皆さんの毎日が明るく楽しく豊かなものになるよう、これからもサポートを行っていきます。

## 生活介護事業所 エスポアール・スター

昨年10月に社会見学（日帰り旅行）に行きました。1・4グループ（生産班）は、ドイツの森に行き、動物とふれあったり機関車に乗ったり、美味しいバイキングを堪能したりした後、パイ作りをしました。第5グループ（療育班）は、蒜山方面に行き、おいしい食事に舌鼓！お天気にも恵まれ、アイスを食べたり、買い物を楽しんだりしました。今年6月にはスター合同の運動会を行い、「大玉転がし」やエスポアールでは定番のフラフープでボールを引く「お散歩リレー」、「パン掴み競争」を楽しみました。コロナも5類となり感染予防に留意しつつ、保護者の皆様にも行事にご参加頂くことができました。



日々の活動としては、音楽・創作・健康・地域美化・カラオケ・社会経験活動（買い物やイベントの観覧・季節の木花の鑑賞）など、多岐にわたる内容を行っています。月に一度の合同活動では体力測定やゲーム、力を合わせて壁画等の作品作りも行いました。



## 生活介護事業所 エスポアール・クワノ

エスポアール・クワノは、利用者23名で楽しく活動を行っています。昨年度より、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらコロナ禍以前の活動を少しずつ再開しています。

午前中は、個別やグループでの活動・療育・作業的活動を行っています。午後からは2つの部屋に分かれて療育活動（音楽・ダンス・創作活動等）を行っています。



毎日の活動が利用者みなさんにとって楽しく充実したものになり、5年・10年先に振り返って、できることや楽しめるものが増えていることを目指し、支援をしています。



## 救護施設 たましま寮

たましま寮では、ようやくコロナが収束しボランティアの受け入れや近場への外出はできるようになりました。といっても、寮内での活動が主になるため、行事やクラブ活動がない日には、空き時間に個人やグループで作品作りを行っています。他の人の作品を見ることで、自分もやってみたくて希望が挙がるなど、お互い良い刺激になっているようです。障がい者作品展や11月の合同発表会に向けて日々取り組んでいます。



砂絵で『オウム』と『フラミンゴ』、  
『クマと夏の花束』を作ったよ！



こいのぼりに  
手形で模様をつけました～！



『マカロンタワー』と  
『蓮の花』 綺麗でしょ♪



夏の夜空、今年は  
織姫と彦星が会えたね！

## 障害者支援施設 のぞみ園



夏祭り



お花見

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、以前の生活スタイルにより近づけるよう取り組んできました。

社会見学では昨年に続き、県外へ出かけて水族館の見学やホテルでの昼食を楽しまれたり公共交通機関を利用してみるなどの試みを行ったり、また、夏祭りではご家族を招待して一緒にお祭りのひと時を過ごして頂きました。

今まで感染予防の為閉鎖的になっていた部分をさらに開いていき、人と人との交流の機会を増やしていくことで利用者の皆さんが普通に地域社会の一員として過ごせるよう今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。

### 寄付について紹介

『ダンボールベッド』  
『スピーカーセット』  
『草刈り機』『雑巾』  
『次亜水生成器』

トマト銀行従業員組合様より、ダンボールベッドとワイヤレスマイクスピーカーセットを寄附いただきました。



生命保険協会様より、購入助成金をいただき草刈り機等を購入させていただきました。



玉野市ボランティア協議会様より「ボランティアセンター」のお掃除のお礼として、雑巾とタオルをご寄附いただきました。



社会福祉法人清水基金様より、次亜水生成器の購入を助成していただきました。

のぞみ園・グレース・こだまの安全で安心なご飯作りのため、野菜・果物の食材の消毒、調理器具や従事者の手指消毒に使用させていただいています。



ありがとうございます！



## 高齢者事業施設 笑福亭

**令和5年の感染に関する報告**：令和5年度は、令和4年7月～8月にかけて新型コロナウイルスのショートステイユニットの感染と同じ夏場の8月に2階のタチバナユニットで外来受診した入所者から広がり職員も含めてクラスター化してしまいました。

今年度の施設内感染は、令和4年度のショートステイ感染とは異なり、施設の嘱託医の先生が迅速に投薬等に対応してくださり、入院者1名のみで3週間弱で落ち着いています。

令和4年度の反省に基づき、2階、3階と完全に職員他の往来を遮断し、特養2階部分が感染で閉鎖している間もショートステイの受け入れができた事は幸いでした。

**笑福亭の入所者との園芸活動や生活リハビリ**：令和5年5月8日から、新型コロナウイルスが5類に分類されたのを機会に、園芸活動として、屋外にグリーンカーテン作りを行いました。特に笑福亭は西日が強いので、アサガオ、ゴーヤ、キュウリといった上に伸びる植物と、プチトマトや花も植えました。

プチトマト、ゴーヤは出来栄が悪く入所者で料理して食べることはなかったのですが、キュウリはたくさん収穫ができ、入所者の方々に切って浅漬けにして食べて頂いて大変好評でした。今年も、キュウリを5月末に植えましたが、6月半ば以降に毎日の様に収穫でき、昨年以上の豊作に恵まれ、浅漬けを何種類も作って楽しむ事ができました。

生活リハビリでは、塗り絵、ちぎり絵の作業療法に加え、YouTube動画をテレビに映して歌を歌いながら集団体操をしています。また、希望者には、決められた時間にカラオケを毎日楽しんで頂いています。生活リハは、可能な限り自分で食事を取る。日中は、紙おむつを外して紙パンツを装着してもらっています。自然排便を促すため、トイレ誘導して可能な限り自力で立って移動し腹圧を掛けて排便して等の努力もしています。

今年度からは、運営推進会議も復活して、地域の方とも交流を再開しました。笑福亭の地域における評価も思った以上に高く、これから隣接するエスポワールクワノと共に地域福祉を下支えできるよう努力していきますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 計画相談 相談支援事業所エスポアール

令和5年度までは計画相談から地域移行支援まで幅広い活動を行ってまいりました。令和6年度からは計画相談を中心に取り組み、皆様の希望する暮らしの実現に向けて寄り添ったサポートを実施しています。

# いい絵、いい作品がいっぱいできています



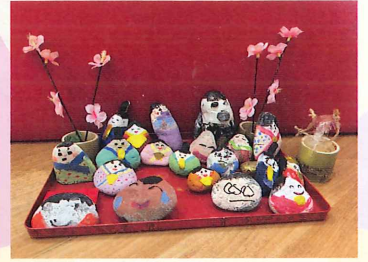
エスポール・クワノ  
「お花がいっぱい」



エスポール・スター  
「桜」



のぞみ園  
「キリンとライオン」



こだまクラブ  
「石のお雛さま」



のぞみ園  
「バケモノの子」

ペットボトル  
キャップアート

同仁会では、日々の活動の中でたくさん良い作品ができています。いろんなタッチ、画風、写真など、作品の一部ですが見ていただければ幸いです。



笑福亭  
「カラオケ」



エスポール・セルプ  
「どんだん花火」



グレイス  
「お魚コースター」

第7回きらぼしアート展  
絵画部門入選作品



貸し切り列車「夢やすらぎ号」に乗車しました♪



コロナ禍のため縮小してきた社会見学ですが、令和5年度は、5年ぶりにご家族とともに社会見学への参加ができました。

「四国水族館」「後楽園」「井原鉄道乗車」と3つのコースに分かれて参加していただきました。



## ご家族と社会見学へ



後楽園でまったり散歩



四国水族館  
SHIKOKU AQUARIUM

はじめての四国水族館へ！



次号をお楽しみに！